

研究実施のお知らせ

2024 年 10 月 7 日 ver.1.0

研究課題名

小児心臓外科における術前検査としての造影 CT によって確定診断した、血管系および気管形態異常に関する研究

研究の対象となる方

2013 年 10 月から 2024 年 12 月末までの間に島根大学医学部附属病院 小児心臓外科において手術を受けられ、手術前検査として造影 CT 検査を受けられた方

研究の目的・意義

先天性心疾患に対する外科手術を受ける際の術前検査として、

1.心臓超音波検査、2.心臓カテーテル検査、3.造影 CT 検査などがあり、それらには検査の特性があり、一長一短があります。

1 や 2 とは異なり、3.造影 CT 検査は全ての血管を同時に観察することが出来るため、1 や 2 の検査では注意して観察しないと認識することが難しい血管系の異常を、見つけることが出来ることも少なくありません。動脈だけを例に取っても、鎖骨下動脈起始異常、bovine 型大動脈弓、冠動脈高位起始(high take off coronary artery)、単冠動脈などがあります。

また気管分岐異常は血管とは異なり、1 や 2 での発見は難しく、CT で偶発的に発見されることがほとんどです。

本研究により、小児心臓外科手術におけるさまざまな血管形態異常や気管分岐異常の頻度の 1 つの目安を示すこと、またその診断において造影 CT 検査の有用性を示すことが、今後の小児心臓外科における治療の質的向上に寄与するものと考えています。

研究の方法

上記期間において、術前検査として造影 CT 検査を受けられた患者さんを対象として、電子カルテ上の造影 CT 検査における血管形態を詳細に見直すこと。

- 1) 検査時月齢、体重、原疾患、病歴、染色体異常
- 2) 術前造影 CT 検査
- 3) 術前心エコー検査
- 4) 術前心臓カテーテル検査
- 5) 血管形態および気管形態異常が、麻酔方針および手術方針に、どのように影響を与えたか

6) 正確な診断のためにどの程度造影 CT が有用なのかなどを調査します。
個人を特定する情報につきましては厳重に管理し、学会発表や論文で公表する際には、個人が特定できない形で使用します。

研究の期間

2024 年 11 月 26 日～2027 年 12 月末

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部循環器外科学講座 中田 朋宏

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2025 年 6 月末までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部循環器外科学講座／附属病院小児心臓外科 中田 朋宏

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2225 FAX 0853-20-2222